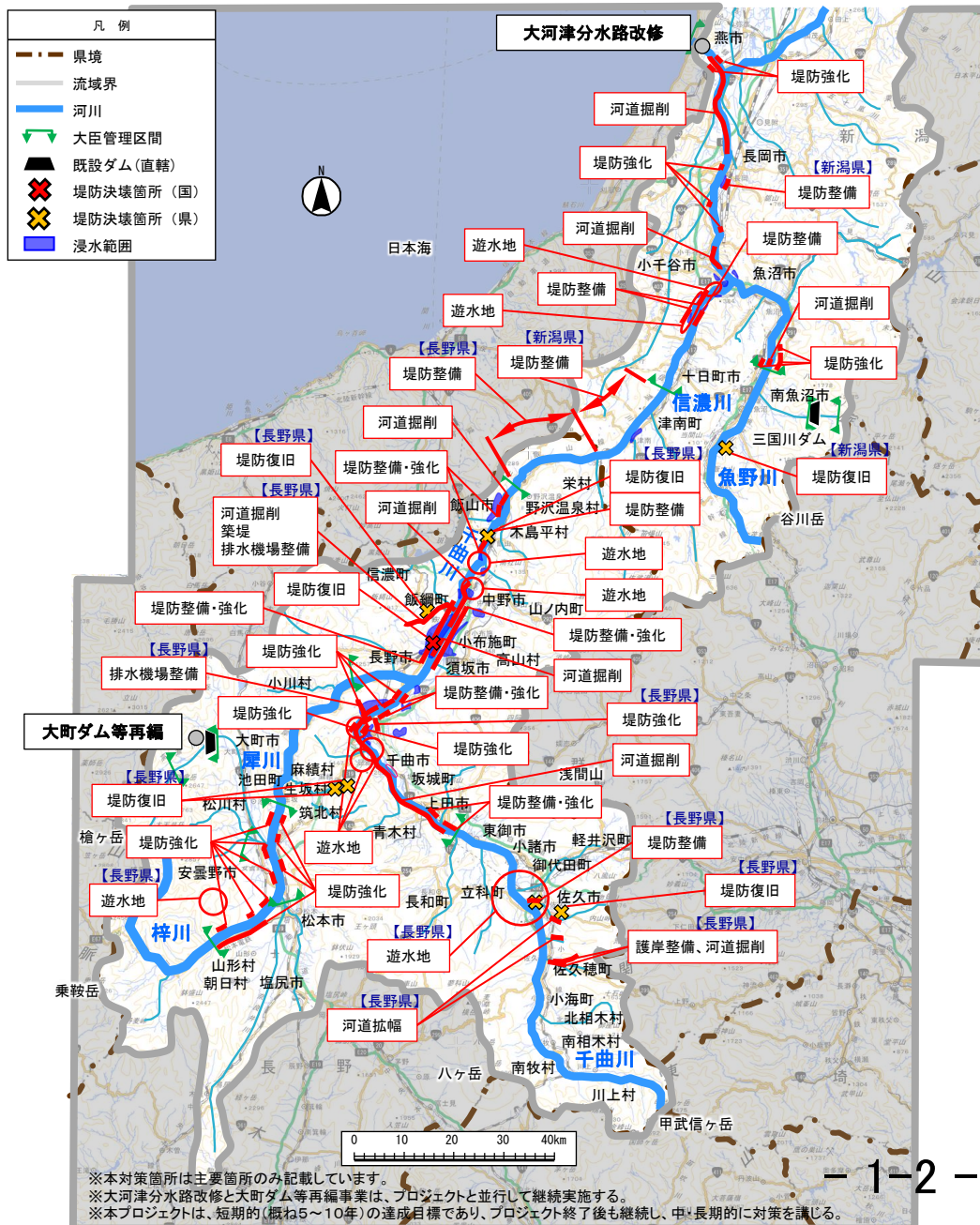


信濃川水系緊急治水対策プロジェクトについて

令和7年10月15日



○令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した信濃川水系において国、県、市町村が連携し、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めています。

○国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、信濃川本川及び千曲川本川の堤防で被災した区間で越水防止を目指します。

①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】

③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

○令和7年度は、引き続き上下流バランスを踏まえた、全川での河道掘削等の改良復旧、ため池・田んぼダム等既存施設の有効利用（流域対策）、マイタイムラインの普及（ソフト施策）を実施

■河川における対策

全体事業費 約2,865億円【国:約2,226億円、県:約639億円】
 災害復旧 約586億円【国:約214億円、県:約372億円】
 改良復旧 約2,279億円【国:約2,012億円、県:約267億円】

事業期間 令和元年度～令和13年度

【令和9年度まで】

令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における

・千曲川本川の大規模な浸水被害が発生した区間等において越水等による家屋部の浸水被害軽減

- ・信濃川本川の越水等による家屋部の浸水を防止

【令和13年度出水期前まで】

令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における

・千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止

対策内容 河道掘削、遊水地、堤防整備・強化

※四捨五入の関係で合計値が含まない場合がある。

※事業費と事業期間については、今後の改良復旧工事の進捗に伴う現場条件の変更等により検討・見直しが生じる可能性があります

■流域における対策

- ・ため池等既存施設の補強や有効活用

- ・田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- ・学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- ・排水機場等の整備、耐水化の取組
- ・防災拠点等

■ソフト施策

- ・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
- ・高床式住まいの推進
- ・マイ・タイムラインの普及
- ・公共交通機関との洪水情報の共有
- ・住民への情報伝達手段の強化



長野市穂保地先の堤防決壊、
浸水被害状況

新潟県小千谷市内における
浸水被害状況

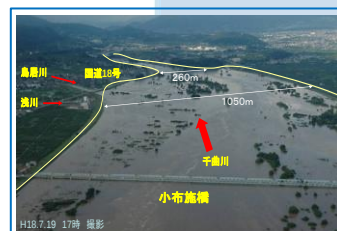
※計数については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。

「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進

上下流や本川支川の信濃川流域全体を見据え、

- 立ヶ花狭窄部上流の緊急的な堤防強化(粘り強い河川堤防構造)
- 下流から計画的に行う堤防整備や河道掘削(大河津分水路改修、立ヶ花狭窄部掘削)
- 上流で洪水を貯留するダム(大町ダム等再編)や遊水地の整備

といった河川におけるハード対策をフル動員し、各管理者が連携・調整しながら、段階的かつ緊急的に対策を講じます。



立ヶ花狭窄部掘削



堤防強化(粘り強い河川堤防)



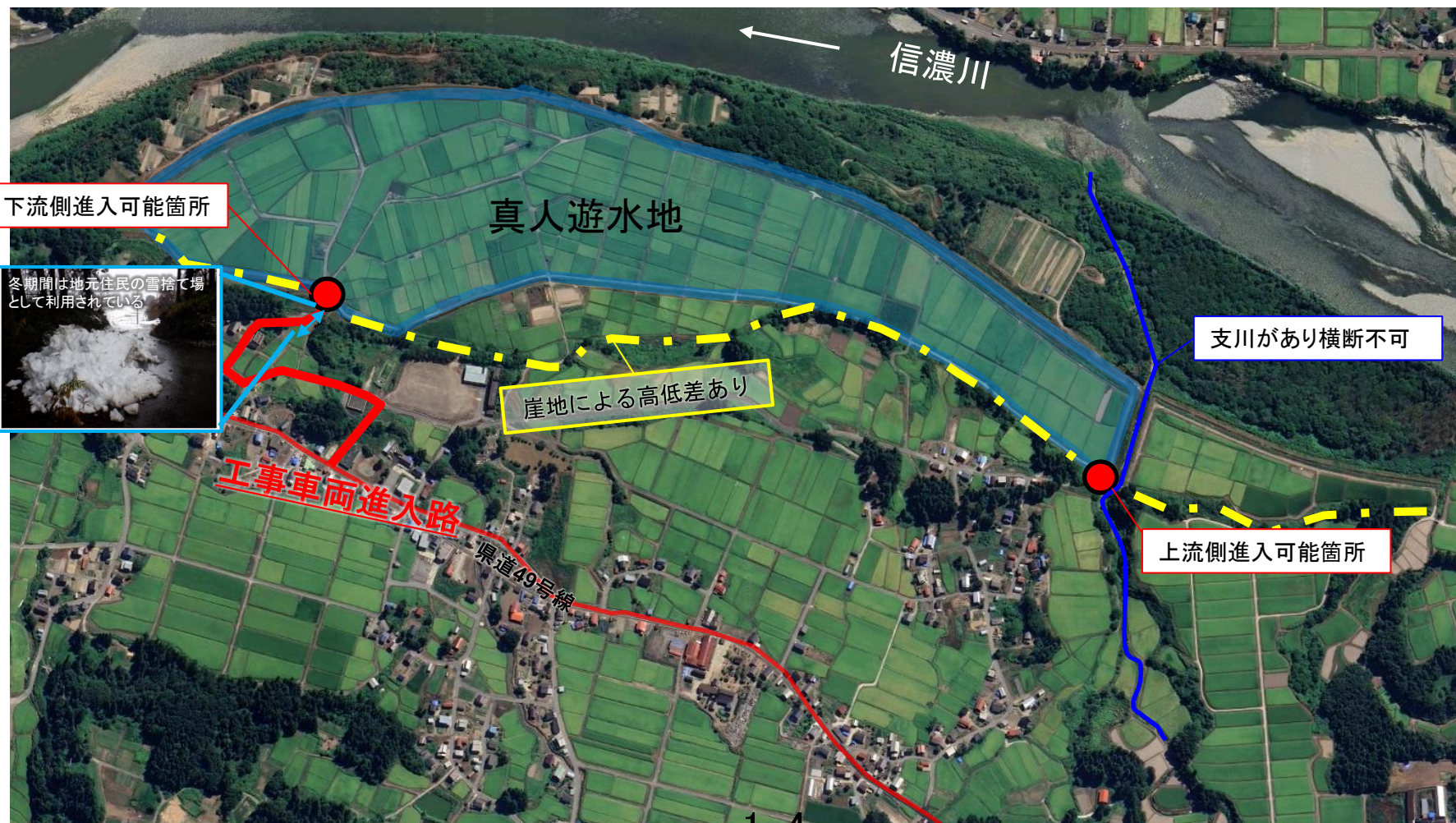
大町ダム等再編事業

凡 例	
	流域界
	県境
	河川
	既設ダム(直轄)
	基準地点(高水)
	基準地点(低水)
	主要な地点
	想定氾濫区域

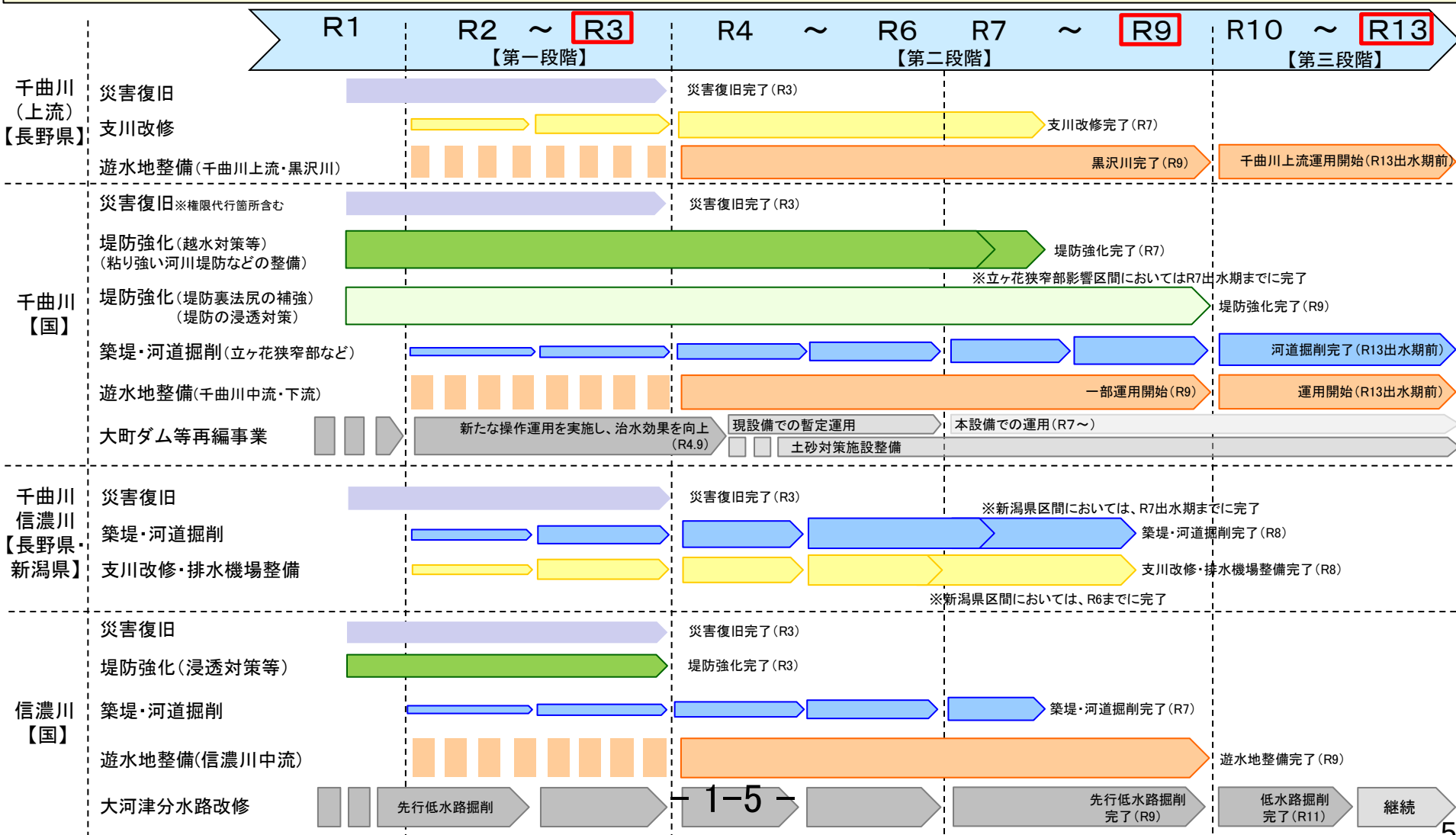


【真人遊水地】工事用道路の検討

- 当該箇所は崖地で高低差があり、豪雪地帯でもあることから冬期間の道幅も狭く通行可能なルートが限られている。
- また、下流側の進入可能な道路についても、冬期間は地元の雪捨て場として利用されており、地域の利用実態も踏まえた通行制限を行うことから、真人遊水地の事業期間は令和9年度末までとなった。

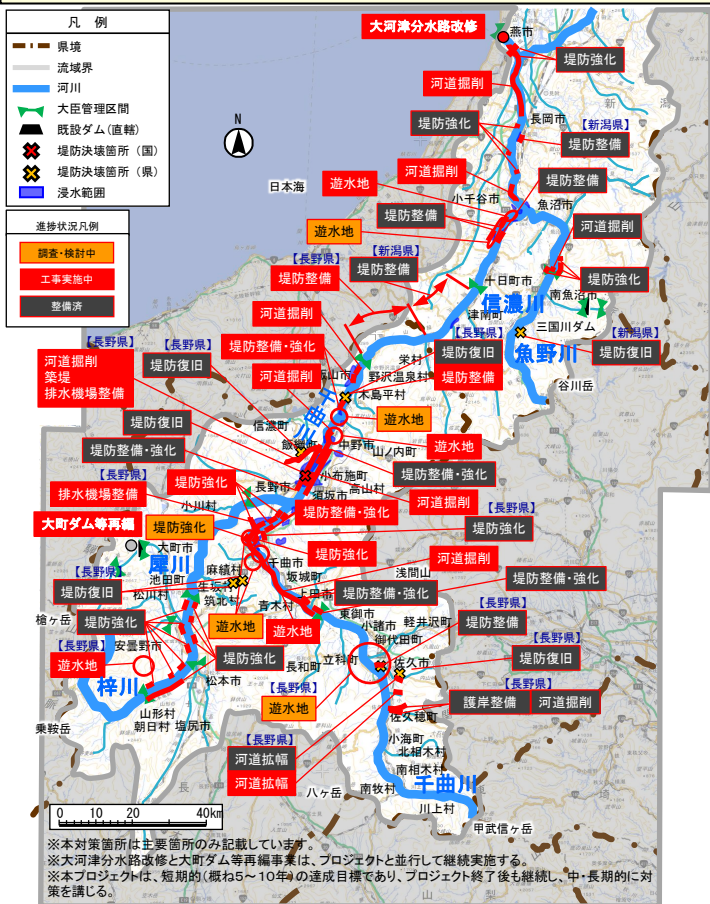


- 【第一段階】 令和元年東日本台風による災害復旧について令和3年度までに完了
- 【第二段階】 改良復旧である堤防強化（粘り強い河川堤防構造など）や大町ダム等再編事業（容量再編）を完了
並びに一部遊水地の運用を開始することで、一定の効果を発現
- 【第三段階】 遊水地、河道掘削（立ヶ花狭窄部など）を令和13年度までに完了
なお、緊急治水対策プロジェクトで目標とする効果は令和13年出水期前までに発現



「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進

- ◇原型復旧は、全797箇所の中のうち、797箇所完成（進捗率：100%）。
- ◇改良復旧は、河道掘削及び堤防整備・強化を推進中。なお、堤防強化のうち、立ヶ花狭窄部影響区間における粘り強い河川堤防は、令和7年度出水期までに完了。
- ◇遊水地は関係者（地元）説明会を開催し、丁寧な説明を行いつつ、調整が図られた箇所から整備を推進中



原型復旧の進捗

千曲川河川事務所		長野県	
24箇所／24箇所(国管理区間)		675箇所／675箇所	
5箇所／5箇所(権限代行区間)			
国管理	100%		100%
権限代行	100%		100%
信濃川河川事務所		新潟県	
12箇所／12箇所		81箇所／81箇所	
	100%		100%

千曲川
令和2年6月撮影
長野県長野市 穂保地区 復旧状況

千曲川
令和3年7月撮影
長野県東御市 本海野地区 復旧状況

改良復旧等の進捗

①河道掘削（10箇所 251.6万㎡）		進捗率	施工状況
設計		100%	令和7年1月撮影 飯山市 戸狩地区(千曲川)
用地調査	4.5ha	100%	
用地補償	4.4ha	0.1ha98%	
工事	167.3万㎡	84.3万㎡ 66%	
②築堤・堤防整備(量的整備)（25箇所 107.4万㎡）		進捗率	施工状況
設計		100%	令和7年7月撮影 長野市 松代町小島田地区(千曲川)
用地調査	40ha	100%	
用地補償	38.8ha	0.9ha98%	
工事	90.1万㎡	17.3万㎡ 84%	
③堤防強化(質的整備)（26箇所 28.2km）		進捗率	整備後
設計		100%	令和7年6月撮影 長野市 村山地区(千曲川)
用地調査	27.6ha	0.1ha99%	
用地補償	24.6ha	3.1ha 89%	
工事	20.2km	8km 72%	
④遊水地（9箇所 築堤19.4km 掘削431.5万㎡）		進捗率	施工状況
設計		96%	令和7年7月撮影 中野市 上井遊水地(千曲川)
用地調査	273ha	15.4ha 95%	
用地補償	198.6ha	89.7ha 69%	
工事	1.7km	17.7km 9%	
工事(周囲堤・囲繞堤)	8.6万㎡	422.7万㎡ 2%	
工事(池内掘削)			

※令和7年7月末時点における、必要数量に対する数量・進捗率

【最近の動き】



49: 小千谷市 東栄地区
 (信濃川 右岸)

流域における対策

- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

田んぼダム等の雨水貯留活用

排水機場整備

【最近の動き(新潟県)】



42: 津南町 巻下・小島・押付地区 (信濃川 左岸)



116 堤防強化(越水対策)
 (整備済)

117 河道掘削
 (整備済)

【最近の動き】



47: 小千谷市 塩殿地区 (信濃川 左岸)

50 堤防強化(越水対策)
 (整備済)

115 浄土川堤防整備
 (整備済)

48 堤防整備
 (整備済)

46 堤防整備
 (整備済)

45 堤防整備
 (整備済)

47 遊水地整備
 (工事実施中)

44 遊水地整備
 (工事実施中)

51 堤防強化(越水対策)
 (整備済)

【最近の動き】



49: 小千谷市 木津地区 (信濃川 右岸)

43 堤防整備
 (整備済)

41 堤防整備
 (整備済)

40 堤防整備
 (整備済)

38 堤防整備
 (整備済)

37 堤防整備
 (整備済)

42 堤防整備
 (整備済)

39 堤防整備
 (整備済)

【最近の動き】



53:長岡市 横下地区 (信濃川)

【最近の動き(新潟県)】



115:長岡市 今井地区 (浄土川)



【最近の動き】



56:大河津分水路改修事業 (大河津分水路)

- 凡 例
- 浸水範囲
 - ✕ 決壊箇所(国)
 - ✕ 決壊箇所(県)
 - 大臣管理区間
 - 河川における対策
 - ✕ 河川等災害復旧事業

流域における対策

- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

ソフト施策

- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化



○令和元年東日本台風時に計画高水位を超過し、非常に危険な状態になったことから、洪水を一時貯留する遊水地を整備し、洪水時の水位を低下させます。

○令和7年度は排水樋門、仕切堤および管理用通路等の施工を進めます。令和7年度予算にて完了予定。

位置図

新潟県小千谷市塩殿

項目	進捗状況
用地	用地補償を実施中
工事	工事を実施中

効果イメージ

遊水地設置箇所

遊水地

越流堤

信濃川

洪水を一時的に貯留

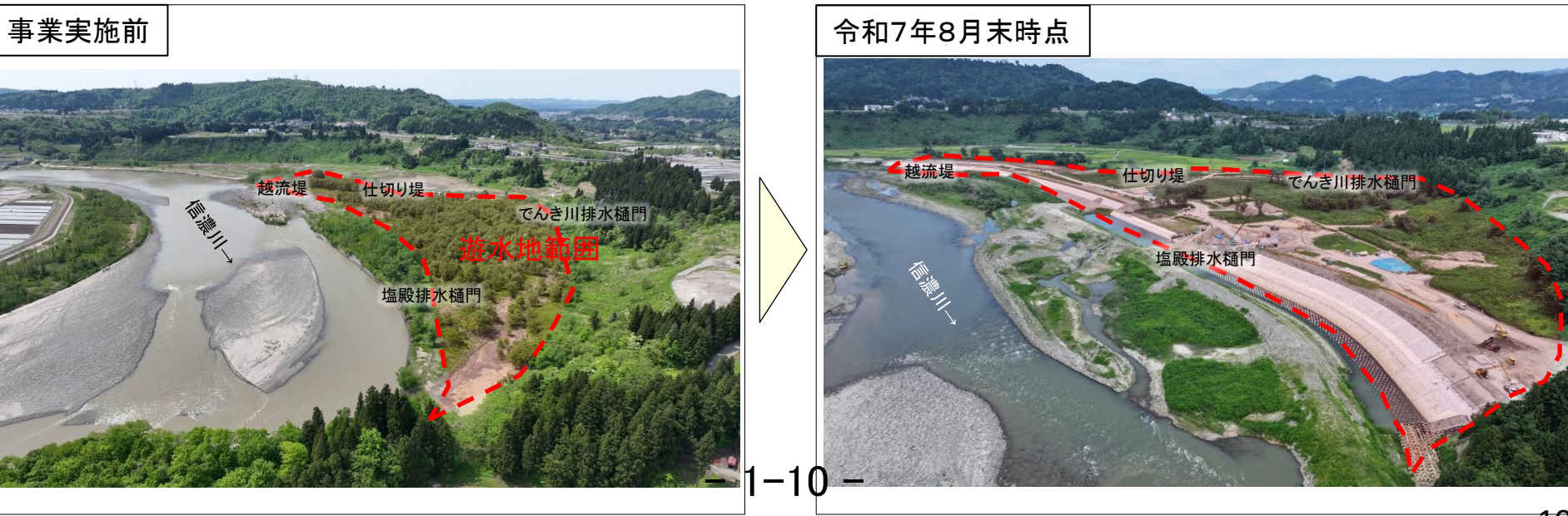
遊水地下流区間

【実施中】

水位低減

遊水地下流の水位を低減

信濃川

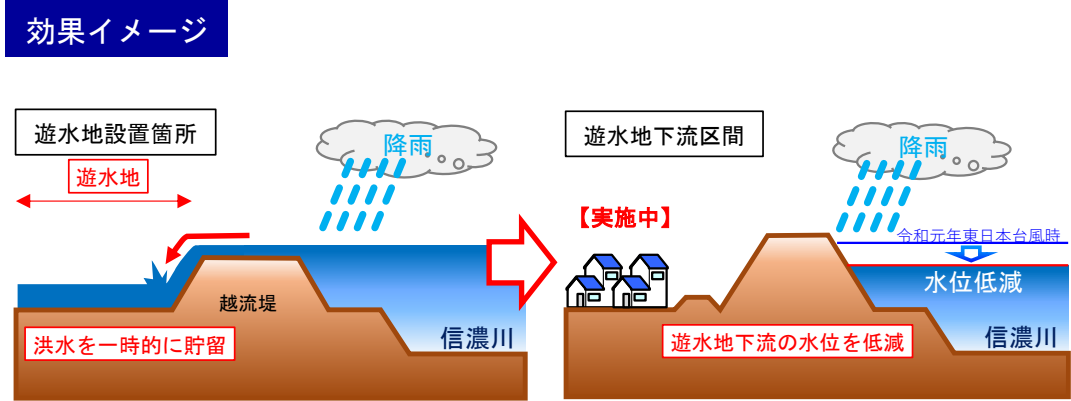


- 令和元年東日本台風時に計画高水位を超過し、非常に危険な状態になったことから、洪水を一時貯留する遊水地を整備し、洪水時の水位を低下させます。

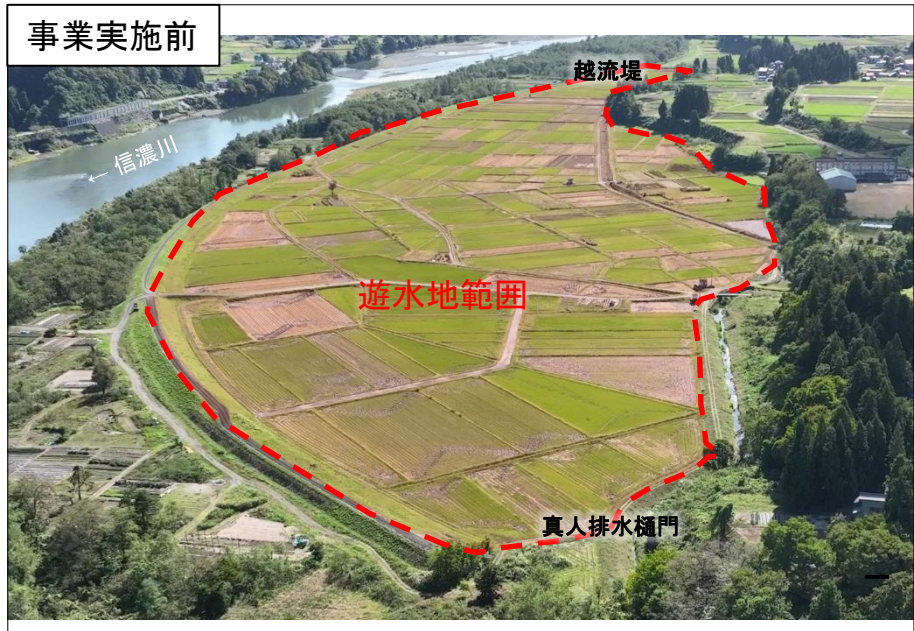
○令和7年度は囲繞堤、排水樋門、管理用通路等の施工を進めます。令和9年度予算にて完了予定。



項目	進捗状況
用地	用地補償を実施中
工事	工事を実施中



事業実施前



令和7年8月末時点

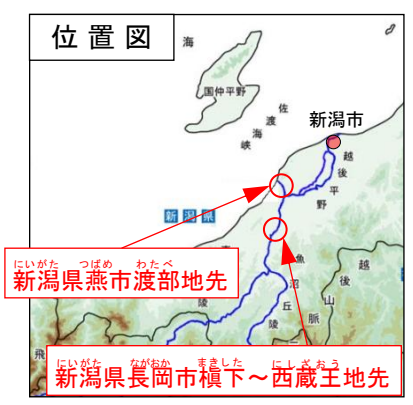


○当該区間は、洪水を流下させるための断面が不足していることから、令和元年東日本台風時には、計画高水位を超過し堤防が危険な状況となったほか、堤防からの漏水被害が発生しました。

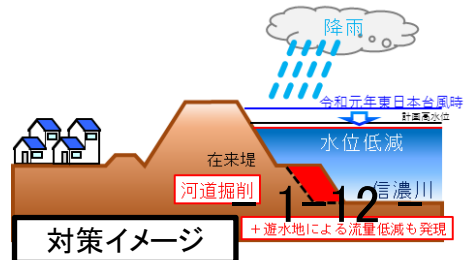
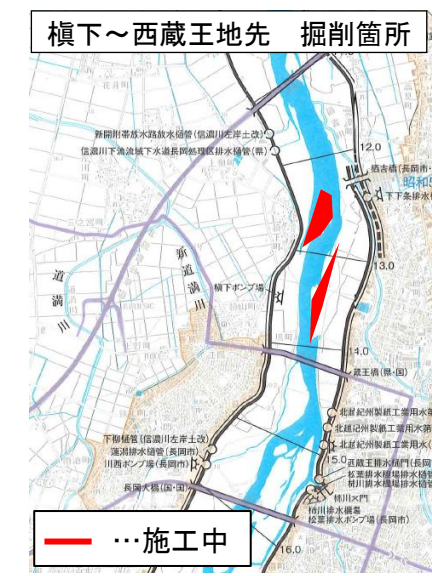
○そのため、洪水時の水位を低下させるための河道掘削を実施しています。

○令和2年度より河道掘削を実施中です。渡部地区と合わせて約87万m³(※)の土砂を掘削することを予定しています。

※ 掘削土量は現在精査中であり、変更となる場合があります。



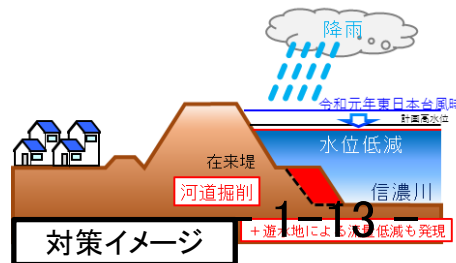
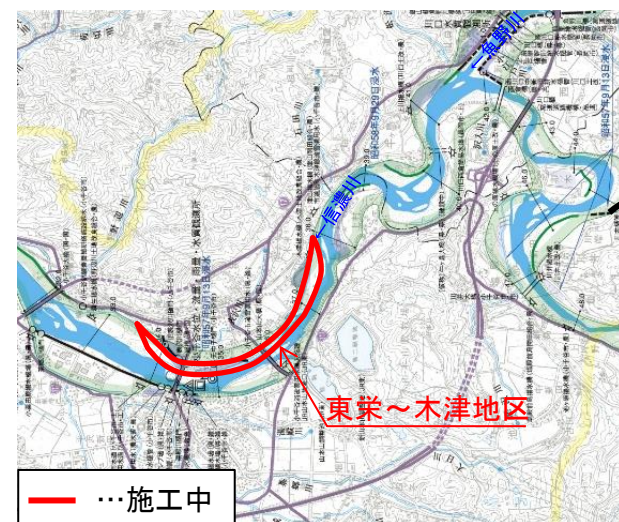
項目	進捗状況
用地 (土地所有者・関係人数全体に対する契約済の割合)	該当無し
工事 (総土量に対する掘削土量の割合)	64.1%



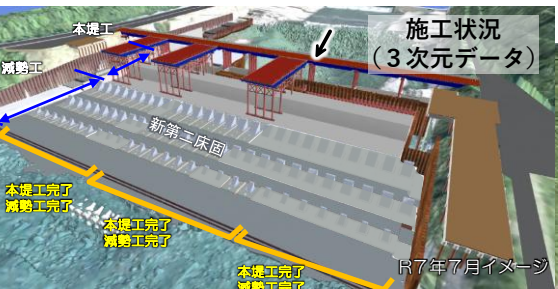
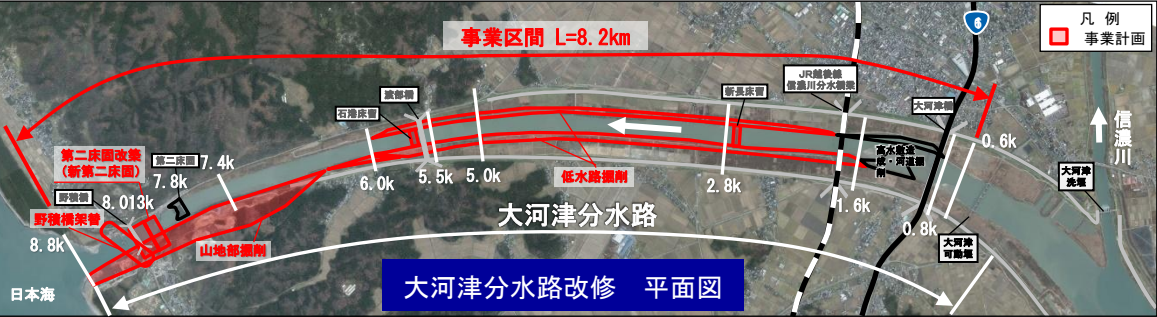
- 当該区間は、洪水を流下させるための断面が不足していることから、令和元年東日本台風時には、計画高水位を超過し堤防が危険な状況となったほか、護岸が崩壊する被害が発生しました。
- そのため、洪水時の水位を低下させ、かつ河岸際に生じる高流速を軽減させるための河道掘削を実施しています。
- 令和2年度より河道掘削を実施中です。約39万m³(※)の土砂を掘削することを予定しています。
- ※ 掘削土量は現在精査中であり、変更となる場合があります。



項目	進捗状況
用地 〔土地所有者・関係人数全体に対する契約済の割合〕	該当無し
工事 〔総土量に対する掘削土量の割合〕	91.0%

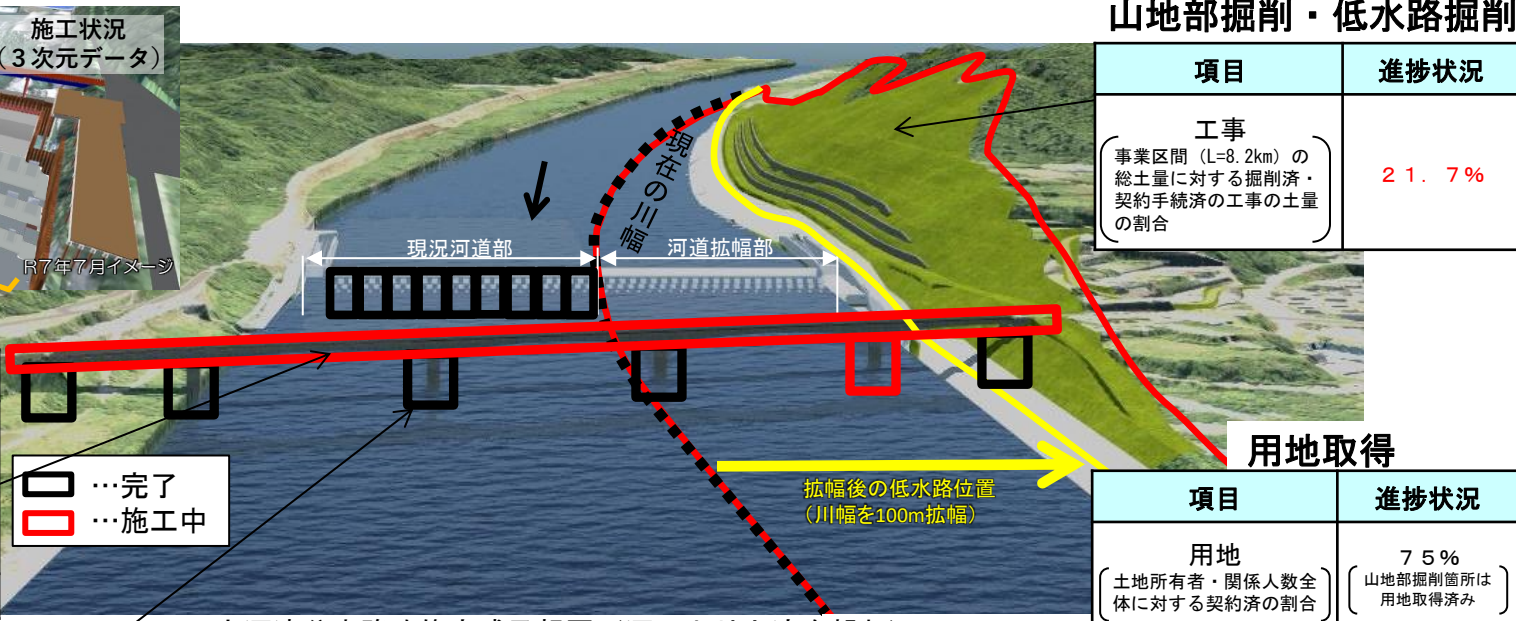


大河津分水路「令和の大改修」



第二床固改築

項目	進捗状況
現況河道部	■ 本堤工 鋼殻ケーソン(全9箇) 9箇設置完了 ■ 護床工完了 減勢工完了
河道拡幅部	未着手



項目	進捗状況
工事 (事業区間(L=8.2km)の 総土量に対する掘削済・ 契約手続済の工事の土量 の割合)	21.7%

項目	進捗状況
用地 (土地所有者・関係人数全 体に対する契約済の割合)	7.5% (山地部掘削箇所は 用地取得済み)

野積橋架替

項目	進捗状況
下部工	橋台 2基完了 (全2基)
橋脚	3基完了 1基施工中 (全4基)
上部工	施工中



○令和元年東日本台風により、信濃川中流域から千曲川上流域の広範囲にわたって甚大な被害が発生したことから、関係機関が連携して信濃川水系緊急治水対策プロジェクトを実施中

○新潟県では、令和7年出水期までに「越水等による家屋部の浸水防止」を概ね達成。

